



決め手は、青森県産。

りんご生産情報第13号

(10月24日～11月6日)

令和2年10月23日発表

青森県「攻めの農林水産業」推進本部



ふじの熟度の進みは平年よりやや早い！
収穫は有袋果が10月27日頃、無袋果が11月1日頃から！！
病虫害被害果が混入しないよう山選果の徹底を!!!

I 概 要

ふじの果実肥大は、10月21日現在、平年並みから平年をやや上回っている。

ふじの熟度は、10月19日現在、有袋果、無袋果ともに平年よりやや進んでおり、収穫始めは、熟度の進みから判断して黒石で、王林が10月26日頃、有袋ふじが10月27日頃、無袋ふじが11月1日頃と見込まれる。

病虫害の被害果は、選果時に徹底して選別する。また、果点の小さな褐色斑点は輪紋病の可能性があるので、出荷先の選果基準にあわせてきちんと分別して出荷する。

果実疫病の感染を防ぐため、果実に泥が付着しないように注意する。

台風や低気圧による強風に備え、風害防止対策をしっかりと行う。

II りんご生産情報

1 果実肥大、果実熟度、作業の進み

(1) 果実肥大

10月21日現在、ふじの果実肥大は概ね順調であり、平年並みから平年をやや上回っている。

果実肥大（10月21日現在、横径：cm、平年比：％）

地 域	年	ふ じ
黒 石 (りんご研究所)	本 年	8.9
	平 年	8.8
	前 年	8.6
	平年比	101
青森市浪岡吉内 (東青地域県民局)	本 年	8.8
	平 年	8.5
	前 年	8.9
	平年比	104
弘前市独狐 (中南地域県民局)	本 年	8.9
	平 年	8.7
	前 年	9.2
	平年比	102
板柳町五幾形 (西北地域県民局)	本 年	8.9
	平 年	8.7
	前 年	9.2
	平年比	102
三戸町梅内 (三八地域県民局)	本 年	8.5
	平 年	8.5
	前 年	8.8
	平年比	100

(2) 果実熟度

10月19日現在、ふじ（無袋）の熟度の進みは平年値と比較して、硬度、糖度、酸度、ヨード反応、着色指数、蜜果率及び蜜程度は低い。ふじ（有袋）では、平年値と比較して、硬度、糖度、酸度、ヨード反応及び着色指数は低い。総合的に見て、熟度の進みは有袋果、無袋果ともに平年より3日程度進んでいる。

ふじ（無袋）の熟度の進み

（10月19日現在）

地域	年	果重 (g)	着色 指数	硬度 (lbs)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	ヨード 反応	蜜果率 (%)	蜜入り 程 度
黒 石 (りんご研)	本年	353	2.0	14.6	12.9	0.327	2.5	33	0.3
	平年	324	2.6	16.1	13.5	0.413	2.8	77	1.0
	前年	316	2.6	14.3	14.5	0.429	3.6	58	0.3

- 注) 1 平年は1996年～2015年までの20年平均
 2 着色指数 : 0～5 大きい数値ほど着色良好
 3 ヨード反応 : ヨードでんぷん反応指数0～5
 小さい数値ほどでんぷんが少ない
 4 蜜入り程度 : 0～4 大きい数値ほど蜜発生大

ふじ（有袋）の熟度の進み

（10月19日現在）

地域	年	果重 (g)	着色 指数	硬度 (lbs)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	ヨード 反応	蜜果率 (%)	蜜入り 程 度
黒 石 (りんご研)	本年	355	1.9	15.2	12.5	0.331	2.5	25	0.3
	平年	318	3.4	16.1	13.0	0.395	2.8	41	0.4
	前年	302	3.5	14.9	13.8	0.409	3.3	33	0.2

- 注) 1 平年 : 2003～2019年までの17年平均
 2 除袋日 : 外袋9月24日、内袋29日

(3) 作業の進み (10月21日現在)

ジョナゴールドの収穫は、終盤を迎えている。

ふじの着色管理は、葉摘みが終盤を迎え、玉回しが行われている。

2 作業の重点

(1) 晩生種の収穫

ア 王林、ふじ

収穫始めは、熟度の進みから判断して、黒石中心で王林が10月26日頃、ふじの有袋果が10月27日頃、無袋果が11月1日頃と見込まれる。

有袋ふじでは11月10日頃まで、無袋ふじでは11月15日頃までに収穫を終える。

王林、ふじの収穫時の標準指標

品 種	地色*	硬度 (lbs)	糖度 (%)	ヨード [△] 反応	蜜入り程度	食味
王 林	4～5	14～16	13以上	2～3	—	3.5以上
ふじ有袋	—	14～16	13以上	2程度	1程度	3以上
無袋	—	13～16	13.5以上	2以下	2以上	4以上

注) 地色の指数は、果実カラーチャート・リンゴ・王林の指数(濃緑色1～黄色7)

イ 星の金貨、シナノゴールド、ぐんま名月

平年の収穫始めは、黒石で星の金貨が10月25日頃、シナノゴールドが10月26日頃、ぐんま名月が10月30日頃である。

星の金貨は、黄色品種青森県標準カラーチャートの表面色指数が5以上の果実は、長期貯蔵に向かないので年内販売用とする。

シナノゴールドは、収穫時期が遅すぎると油あがりが多くなるので適期に収穫する。

ぐんま名月は、収穫時期が遅すぎると果心部に褐変症状がでることがあるので、適期に収穫する。また、年明け以降は、果肉の軟化や蜜褐変の発生が多くなるので、年内販売とする。

(2) 山選果の徹底

本年はモモシンクイガの産卵が長引いたため、被害果の発生が懸念される。また、果点の小さな褐色斑点は輪紋病の可能性があるので、出荷先の選果基準にあわせてきちんと分別して出荷する。

(3) 風害防止対策

台風や低気圧による強風に備え、防風網やわい性台樹の結束などを再度点検し、補強や取り替えを行う。

また、幹や主枝などに空洞が生じている樹や、腐らん病の被害等を受けた枝や樹は、支柱で支え、縄などで補強する。幼木は、倒伏しやすいので支柱を立てて結束する。

(4) 病虫害対策

ア 果実疫病（おそ疫病）

作業の際は果実に泥が付着しないように注意する。

(ア) 収穫直前まで

反射シートを片づける際には、土を飛散させないようにし、りんご樹にかけて干さない。収穫用のかごや箱の土は、あらかじめ洗い落としておく。

(イ) 収穫時

降雨時の収穫は行わない。やむを得ず収穫する場合は、果実に泥が付着しないように注意する。

落果や収穫の際に落とした果実は、収穫果に混入させない。

(ウ) 収穫後

収穫果は、長く野積みしない。

イ 腐らん病

収穫時のつる折れ、つる抜けとして残ったつるから病原菌が侵入し発病することが多いので、つるが果台に残らないように丁寧に収穫する。つるが残った場合は必ず果台から取り除く。

ウ 輪紋病等被害果の除去

被害果は見つけ次第摘み取り、土中に埋める。

エ 黒星病

黒星病の発生は少なめに推移しているが、発病葉・発病果や、二次伸長葉に黒星病の発生が見られた場合は、来年の感染源となるので、必ず摘み取って処分する。

オ モモシンクイガ被害果の除去

被害果は見つけ次第、7日間以上の水漬けなど適切に処置をする。

3 一般作業

- (1) 鳥害防止対策 (2) 野ネズミ対策

4 今後の作業予定

- (1) 晩生種の収穫 (2) 園内清掃 (3) 腐らん病対策（収穫後散布）
(4) 野ネズミ・野ウサギの被害防止対策 (5) 堆肥づくり、土壌改良
(6) 雪害防止対策 (7) 黒星病被害落葉処理

《 農業保険に加入し、農業経営に万全の備えを！！ 》

農業保険には、果樹共済、農業経営収入保険などがあります。自分の経営にあった保険を選択、加入して、自然災害をはじめとしたリスクに備えましょう。

◎農業経営収入保険

「農業経営収入保険」は、災害による減収に加え、市場価格の低下など農業者の経営努力では回避できない理由により販売収入が減少した場合も補償の対象になる総合的なセーフティネットです。新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少した場合も補償の対象となります。（青色申告の実施が要件）

令和3年の加入に係る申込期限は、継続加入の場合は11月30日（月）、新規加入の場合は12月28日（月）です。必要書類等詳しいことは、お近くの農業共済組合までお問い合わせください。

《 「あおり9」の生果実流通 》

現在、「あおり9」は「彩香」の商標名で販売されていますが、令和7年10月27日で商標の使用契約が満了となり、「彩香」を使用できなくなります。ついては、令和7年10月27日以降は、「あおり9」で販売してください。

機械やはしごを使う際には、事故のないよう十分注意しましょう！

園地を見回るなど、りんごの盗難に注意しましょう！

次回の「りんご生産情報」第14号は11月6日（金）発表の予定です。

連絡先 : りんご果樹課生産振興グループ
電話番号 : 017-722-1111代表
 内線 5097, 5092
 017-734-9492直通